

# Les nouvelles du vins

れぬーべる どぼん

## Vol. 19

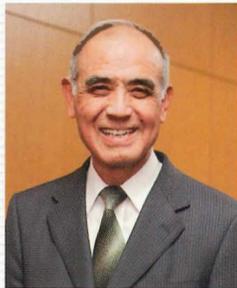


### 短大生のための 「一般常識講座」と 「就活マナー・一般マナー」



学長あいさつ

### “いちばん”を目指して



学長 祖父江 鎮雄

皆様におかれましては、お変わりもなくますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

3. 11. 大震災・原子力発電所事故、長引く経済不況などから日本社会は沈みがちです。しかし、史上最高のメダル獲得を納めたロンドンオリンピック、パラリンピックでの若者の活動に感動し、世界最高を誇る東京スカイツリーに今なお、多くの人々がおしかけています。人々は、「いちばん」を願い、あこがれます。今一度「上を向いて歩いている国」にしたいと渴望し、日本社会は活動を開始しています。「国の復活は教育」からです。「教員中心の大学」から「学生中心の大学」へ「個による教育」から「組織による教育」への教育転換が必要です。

善良な社会人としてのマナー「いちばん」の学生を育成し、その上に専門教育の充実を図ります。本学構成員は心一つにして「教育というものは、若者の未来を創造する営み」との信念で励んでまいります。

今後とも皆様の教学活動へのご支援・ご協力をお願いいたします。

# 感恩

[玉手山学園建学の精神]

## 短期大学の使命

関西女子短期大学は、建学の精神「感恩」を体し、人を幸せにしたいと願う情熱と高い倫理観を持ち、教養に裏づけられた専門知識、技術、そして優れた判断力を持って社会に貢献し得る専門的職業人を育成する。

Les nouvelles des vins Vol.19

### CONTENTS

▶後援会活動報告 ……02	▶卒業生の声 ……07	▶奨学金制度 ……10
▶入学宣誓式 ……03	▶関女技能オリンピック ……08	▶受講中のマナー指針について ……11
▶学外オリエンテーション ……03	▶学園創立70周年記念行事 ……09	▶学生調査について ……11
▶学科・コースニュース ……04	▶オープンキャンパス ……10	▶玉手山学園の学生食堂 ……12
▶就職状況 ……06	▶入試日程 ……10	

# 平成25年度 後援会活動報告



平成25年度 会長  
中谷 泰三

会員の皆さまにおかれましては、日頃より後援会の活動にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。  
私は、今年度後援会会長をさせて頂くこととなりました中谷です。会員、学校関係者及び役員皆さまのご指導、ご支援をいただきながら、微力ではございますが、後援会活動の推進に努めてまいりますので、どうぞご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

さて、後援会は、会則第2条に明記されておりますように、学生の学業及びキャリア形成の支援等に寄与することを目的としております。

さらに本年度からは学生共済会と統合し、福利厚生面での支援をより力強く推し進めていくことになっております。  
学生達が将来の糧となる有意義な学生生活を送るための日陰・日向となる役割を十分に果たせませう、役員一同力を尽くしてまいりますので、皆さまの一層のご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 後援会総会

平成25年5月19日(日)に本学大学2号館において平成25年度後援会総会が開催されました。総会当日の審議事項は次の通りです。

- (1) 関西女子短期大学学生共済会との統合 (2) 平成24年度事業報告及び決算報告
  - (3) 平成25年度役員改選 (4) 平成25年度事業計画及び予算
- 以上が全会一致で承認されました。



また、役員改選では、本年度の会長に中谷泰三氏(歯科衛生学科)が選出されました。

今年度予算では、学生共済会との統合に伴い、学生への福利厚生や家計急変時の支援を充実させるとともに、学生への学習支援強化、保護者との連携強化を重視した取組みを実施してまいります。なお、詳細につきましては、6月に会員の皆様にお送りしております報告書をご確認ください。

### 平成24年度 事業報告

- 1 学生の学業及び課外活動への助成**
  - (1) 教育研究活動に係る助成
    - ① 学生研究助成 ② 卒業研究助成 ③ ゼミ活動に対する助成
  - (2) クラブ活動の助成
  - (3) 学生会活動の助成
  - (4) 図書館事業に係る助成
  - (5) 海外研修(留学)助成
- 2 学生の進路指導への助成**
  - (1) 学生の資格取得及びキャリア形成に対する活動支援
  - (2) 学生の就職活動に係る支援
- 3 学生の福利厚生を支援するための事業**
  - (1) 学生の病気・災害に対する支援
  - (2) 保健管理に係る助成
  - (3) キャンパス環境充実に向けた助成
    - ① 校内美化活動に係る助成
    - ② 施設・備品等の充実助成
- 4 自然災害等による学生の家計急変に対する支援事業**
  - (1) 災害救助法適用地域の学生支援
- 5 本学と会員相互の連携を図る事業**
  - (1) 後援会総会の開催
  - (2) 後援会会報誌の発行
  - (3) 教育懇談会の開催
- 6 その他本会が必要と認める事業**
  - (1) 学校行事協賛事業及び行事運営に係る助成
    - ① 入学式運営に係る助成
    - ② 卒業式運営に係る助成
    - ③ 新入生合宿オリエンテーションの助成
  - (2) 地域支援交流活動に係る助成
  - (3) 教職員、学生の教育研究に係る助成
  - (4) 短期大学記念事業等への協賛活動
  - (5) 学園70周年記念事業への支援

### 平成25年度 事業計画

- 1 学生の学業及び課外活動への助成**
  - (1) 教育研究活動に係る助成
    - ① 学生研究助成 ② 卒業研究助成 ③ ゼミ活動に対する助成
  - (2) クラブ活動の助成
  - (3) 学生会活動の助成
  - (4) 図書館事業に係る助成
  - (5) 海外研修(留学)助成
- 2 学生の進路指導への助成**
  - (1) 学生の資格取得及びキャリア形成に対する活動支援
  - (2) 学生の就職活動に係る支援
- 3 学生の福利厚生を支援するための事業**
  - (1) 学生の病気・負傷等に対する支援
  - (2) 保健管理に係る助成
  - (3) キャンパス環境充実に向けた助成
    - ① 校内美化活動に係る助成
    - ② 施設・備品等の充実助成
- 4 自然災害等による学生の家計急変に対する支援事業**
  - (1) 災害救助法適用地域の学生支援
  - (2) 家計急変による生活困窮学生への支援
- 5 本学と会員相互の連携を図る事業**
  - (1) 後援会総会の開催
  - (2) 後援会会報誌の発行
  - (3) 教育懇談会の開催
- 6 その他本会が必要と認める事業**
  - (1) 学校行事協賛事業及び行事運営に係る助成
    - ① 入学式運営に係る助成
    - ② 卒業式運営に係る助成
    - ③ 新入生合宿オリエンテーションの助成
  - (2) 教職員、学生の教育研究に係る助成
  - (3) 短期大学記念事業等への協賛活動



## 第49回 入学宣誓式



田中美里さん



西尾郁香さん

4月2日桜の花が満開の中、平成25年度関西女子短期大学第49回入学宣誓式が挙行されました。本年は保育科99名、保健科44名、歯科衛生学科117名、医療秘書学科76名、医療秘書学専攻科3名、計339名の新生を迎えました。希望で満ち溢れた新生と保護者が見守る中、祖父江鎮雄学長が入学許可宣言を行い、それを受け新生代表 保育科 田中美里さんと医療秘書学専攻科 西尾郁香さんが宣誓を行いました。



## 学外オリエンテーション

本年も三重県志摩市賢島の宝生苑で恒例の学外オリエンテーションを開催しました。

2日の入学式から3日後の1泊2日の合宿研修で、行きの集合場所ではまだまだ硬い表情も見受けられましたが、2時間半ほど電車で移動している間に、ずいぶん打ち解けた雰囲気になっていました。

夕食・朝食では全学生が一堂に会して食事をしましたが、その他は学科・コースに分かれて様々なイベントを行いました。教員による履修指導や、ゼミ教員を囲む親睦会、2年生による短大生活の紹介、交歓会など、あるときは緊張し、あるときは和やかに、あるいは楽しく、様々なことを学んだり、友達づくりをしたりしました。

帰ってきたときには明後日からの授業へ向けた心構えもできている、充実した2日間でした。



学科・コースニュース

保育科

質の高い保育者養成をめざして

保育科では授業のこと、就職のことなど何でも相談に乗りながら、学生一人ひとりの夢実現に向けて教職員全員が学生のサポートをしています。これから日本の保育界は幼稚園や保育所に加えて新しい総合施設として「幼保連携型認定こども園」が増加していくことが予想されます。この園に就職するには幼稚園教諭と保育士の資格が必要となります。(国は保育教諭という新しい職種の導入を視野に検討中)

本学保育科では保育実習室、ピアノ室、ML教室、工作室など整備された環境で学生たちは学んでいます。全学生が両資格を取得するために、学外実習の指導強化、必修科目以外の選択科目履修も奨励し、2年間でしっかり学び社会に貢献できる保育者を養成しています。

後援会から支援頂いている「公立保育士・幼稚園教諭採用試験対策講座」は多くの学生が受講し、平成25年度の現役合格者は2名。採用試験の機会減少や高い競争率を考慮すれば、まずまずの結果です。これも学生の努力の賜物です。後輩たちに大きな夢と刺激を与えてくれました。その他の取組みとして新たにボランティア活動を奨励し、全員が参加しました。本学の建学の精神「感恩」の心を具現化する活動で、地域の方々喜んで頂きました。

保育科の年間行事として8/4(日)夏季セミナー、8/6(火)～8/10(土)の幼稚園免許更新講習、11/23(土)の保育フェスタ造形作品展、年が明けた3/1(土)保育フェスタ第12回定期演奏会があります。皆様のご来場をお待ちしております。



ML教室



造形作品展ワークショップ



定期演奏会1年合唱

学科・コースニュース

保健科

養護・保健コース

交流の輪を広げて

保健科養護保健コースでは、本学を卒業した養護教諭とその志望者・在学生を対象にした研究会が発足しています。卒業生に対する支援の一つですが、職務に関する相談活動、採用試験対策講座、コース同窓会組織の補強や開催の支援、講師希望者への情報提供等で成果をあげています。年度末の卒後研修会では22年度より研修会に引き続き同窓会を実施し交流の充実に努めています。

今年度は、平成25年2月26日(火)大阪国際交流センターに神戸医療生活協同組合いたやどクリニック院長木村彰宏先生をお迎えし「食物アレルギーと保健室の役割」をご講演いただきました。子どもたちが学校で安全に過ごせるよう専門的な内容を分かりやすく具体的に指導され、さらにエピソードを使った実習も取り入れた木村先生の熱意あふれるご講演は、強いインパクトがあり出席者からは喜びの声が数多く寄せられました。

同窓会では昨年卒業生からベテランの卒業生まで年齢を超えて和やかに歓談できました。今後とも、多くの皆様方の出席を心よりお待ちしております。



エピソードレナー

学科・コースニュース

歯科衛生学科

地域支援活動となる健康展での  
実習を体得

歯科衛生士になるためには、病院や診療所などの医療機関に加え、幼稚園や小学校、高齢者施設等、いくつかの現場での実習を経なければなりません。本学科では、3年生になると学外での実習のひとつとして、大東市、枚方市、大阪市港区のいずれかの健康展に赴きます。健康展では、市と歯科医師会や歯科衛生士会、薬剤師会や栄養士会等さまざまな団体が連携し、市民の健康増進を支援しており、学生は地域支援活動の実際に触れ学びます。

学生は、歯科医師による歯科検診の結果を記録したり、歯科衛生士による歯磨き指導やフッ素塗布の補助をします。また、子どもを対象にした歯磨きに関する講話や寸劇、成人を対象にした健口体操にも取り組み、毎年お褒めをいただいています。

学生たちは緊張と不安のなかで当日を迎えますが、地域の歯科医師や歯科衛生士の方々からたくさんのご指導をいただきながら一つひとつクリアしていきます。多くの方々から「ありがとう」と言ってもらった感動は、将来の夢に一步近づいた証です。



「むし歯菌をやっつけろ」をテーマに寸劇に取り組んだ学生たち



歯磨き指導の実習の様子

学科・コースニュース

医療秘書学科

医療秘書コース

一期生が巣立ちました

医療秘書学科・医療秘書コースとして一期生の卒業生が巣立ちました。さらに診療情報管理士受験資格を目指す3名の学生が専攻科に進みました。

病院実習

新2年生は就職活動中でもある夏期休暇の4週間を使って病院実習をします。終わってから1年生、2年生を前に各自「病院実習報告会」と称して体験した内容を発表します。

秘書技能検定1級合格

現役の秘書も受験する難関の検定ですが、秘書業務を本コースで初めて学んだ卒業生が去年は4名、本年は3名が1級に合格しました。

各種表彰

今年101歳を迎えられた日野原重明先生(聖路加国際病院理事長)が会長の医療秘書学会から、今年度も成績優秀賞を授与されました。

卒業生講話

本コースを卒業し「医療秘書」として勤務する16年目の山口氏(東住吉森本病院)が、キャリア教育の一環として、病院業務について話してくれました。



医療秘書病院実習



秘書検定1級合格



病院実習報告会



各種表彰



卒業生講話

学科・コースニュース

医療秘書学科

介護福祉コース

介護福祉コースは3年目を迎えました。

3月には初めての卒業生10名が介護福祉の現場に巣立ってくれました。

介護福祉コースでは、幅広いニーズに対応できる質の高い介護福祉士の養成を目指し、更なる教育内容の充実に努めてまいります。

より深い実践的な技能の修得だけでなく、1・2年生合同の授業や実習施設との連携プログラム、介護現場の職員を招いての特別講義、関女技能オリンピック、ボランティア等さまざまな活動を通じ、チームの一員として社会で力を発揮できる能力を身につける取り組みもすすめています。

今後は、リカレント教育・研修会等を通じて、卒業後も共に学び続けることが出来る環境づくりに取り組んでまいります。



1・2年生合同授業



グループホームでのレクリエーション

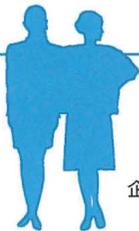


関女技能オリンピック



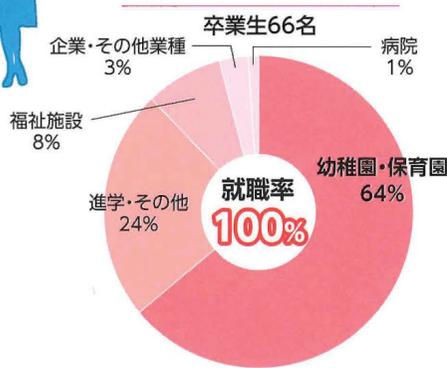
特別講義(キャリア教育)

就職状況

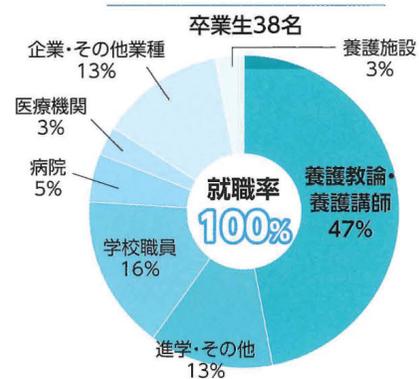


[平成25年3月卒業生]

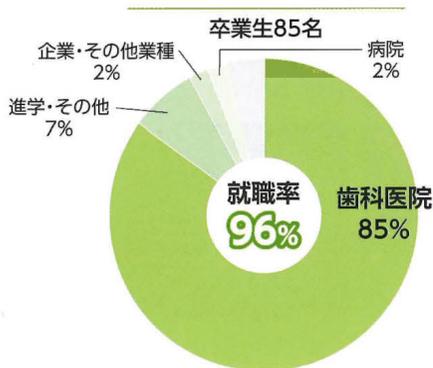
保育科



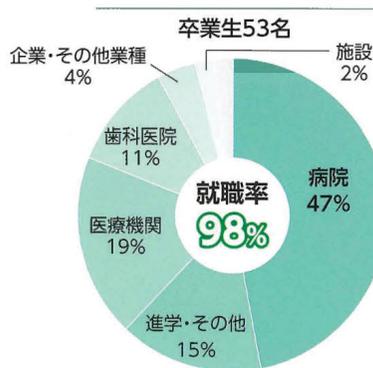
保健科(養護・保健コース)



歯科衛生学科



医療秘書学科(医療秘書コース)



医療秘書学科(介護福祉コース)





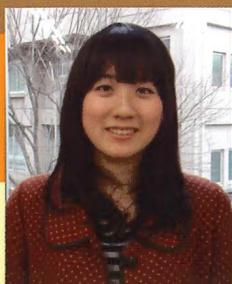
Graduates Voice

# 卒業生の声

保育科 臨床保育コース

[勤務先]  
藤井寺市立藤井寺幼稚園

鳥羽 真央



入学からの2年間、あつという間の時間の中で、短大での生活には毎日の勉強、課題、学外実習、ボランティア、行事等と沢山の事が詰まっていた。先生方の講義や本から得た知識、実習での経験、そして自分の周りの人との関係の中で学んだ事、喜びや悲しみ、悔しいこと、悩むこと、相手の気持ちを考えることの難しさや大切さ……。心の中からあふれてしまいそうなくらいです。

関女で得た知識と様々な想いを胸に、4月から子どもたちのために頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。

保健科 養護・保健コース

[勤務先]  
小豆島町立星城小学校

中井 千尋



現在、香川県の公立小学校で養護講師として勤務しています。養護教諭を志し、関西女子短期大学 保健科 養護・保健コースに入学したときから、常に先生方と仲間が同じ方向を向いて、確かな一歩を踏みしめながら歩んできました。2年間の学生生活のすべてが、私を作る一部となり、人と向き合い、思いやり、絆を深め合うことのすばらしさを学びました。これからも、それぞれが新しい環境の中で、試行錯誤しながら、一つの目標に向かって夢を追い続けていきたいと思っています。

歯科衛生学科

[勤務先]  
医療法人社団TDC  
タバタデンタルクリニック  
八木 絵里香



私は4月から兵庫県芦屋市のタバタデンタルクリニックで歯科衛生士として勤務しています。こちらのクリニックでは母校の先輩がお二人勤務されていたため、就職先を紹介して頂きました。社会人として初めての職場という慣れない環境でのスタートだったのですが、母校の先輩がおられたので、とても心強かったです。

関西女子短期大学で学んだことを活かし、さらに専門知識を増やし、患者様に満足して頂けるよう、これからも努力していきたいと思ひます。

医療秘書学科 医療秘書コース

[勤務先]  
医療法人檀原友誼会  
大和檀原病院  
木村 友香



就職活動は自分の中で最大のイベントでした。新卒採用の求人票から自分の中で優先順位を決めて探していました。その中でふと目にとまった病院が大和檀原病院でした。先輩がいらっしゃることはとても心強く、採用試験を受けました。緊張しましたが内定をいただけほっとしました。これから先のことは不安でいっぱいですが、今まで本学で学んできたことを活かして後輩のためにも一生懸命に頑張ろうと思ひます。

医療秘書学科 介護福祉コース

[勤務先]  
社会福祉法人邦寿会  
どうみょうじ高殿苑  
阪本 ひとみ



私は、関西女子短期大学の介護福祉コースで多くのことを学びました。

特に印象に残っていることは、2年生の学外実習です。25日間という長い期間で何度もくじけそうになりましたが、仲間と励まし合いながら、最後まで頑張ることができました。最後に利用者さんの笑顔を見ることができたときは、とても嬉しかったです。

これからも、介護福祉士として関西女子短期大学で学んだことを活かし、後に続く後輩たちのためにも頑張ります。

# 関女技能 オリンピック

去る平成24年12月8日(土)、第3回関女技能オリンピック表彰式が開催されました。この技能オリンピックは各学科・コースの専門職に係る技能を競い合い、その向上と自己研鑽を促進することを目的として行われているもので、今年度は11月に新たに介護福祉コースを加えて各学科・コースでそれぞれ特徴に応じた予選・本選が実施され、各成績優秀者が当日表彰されると共に見事な実演が披露されました。この素晴らしい実技に対して参加した学生の皆さん、教職員から惜しめない拍手と賞賛の声が贈られました。



# 70周年玉手山学園all同窓会

開催



平成24年9月2日(日) 学園創立70周年記念行事の一環として「70周年玉手山学園all同窓会」が開催されました。

関西女子短期大学同窓会は「全卒業生同窓生会」として玉手山学園本館2階食堂にて開催されました。

第1部では、同窓会長、理事長、学長の挨拶の後、新役員の挨拶があり、4学科のアピールとして、保育科長 仲宗根稔先生、保健科長 鍵岡正俊先生、歯科衛生学科長 大嶋隆先生、医療秘書学科長 堀初子先生からの話がありました。また、卒業生による作詞・作曲の唱歌、プロの「background of the music」による演奏を聴きました。

全国から卒業生約250人が集い、懐かしい友や恩師との再会に声を弾ませ、思い出話が尽きることなく賑わっていました。

第2部では「FM802 スペシャルライブ『一青窈』」が開催され、学園同窓生と同伴者約1,200人が幻想的な演出と一青窈さんの歌に魅了されました。

今後も同窓生の皆様には、母校の発展ためご協力いただきたいとの思いを込め、玉手山学園all同窓会は盛会のうちに幕を閉じました。



予約不要  
入場無料

# 2013 OPEN CAMPUS



7/14 (日) A	7/27 (土) A
7/28 (日) A	8/11 (日) A
8/25 (日) A	9/8 (日) B
12/21 (土) A	

[開催時間]  
A ……10:00~15:00  
B ……13:30~17:00

## 主なプログラム

- 全体説明 ●体験授業 ●学科説明 ●在学生トークコーナー・キャンパスツアー
- 個別相談コーナー ●卒業生体験談など

※プログラム内容は変更になる場合がございますのでご了承ください。

## パーソナル相談会

完全予約制 年中開催

開催日時 月～金(祝祭日を除く)9:30~18:00

年間を通じて、平日にパーソナル相談会を実施。大学・短大の概要や学科説明、入試制度まで丁寧に個別相談に応じます。もちろん編入学、大学院、社会人入試をお考えの方もご利用いただけます。

【お問い合わせ・お申し込み】

関西女子短期大学 TEL.072-978-0640 [入試広報部直通]

(受付時間/月～金 9:30~17:30)

## 関西女子短期大学 平成26年度 入試日程

選考区分	対象学科	出願期間(消印有効)	選考日
AO入試	前期 保育学科 医療秘書学科	平成25年 8/1(木)～8/5(月)	平成25年 8/9(金)
		平成25年 8/20(火)～8/26(月)	平成25年 8/30(金)
	後期 全学科	平成25年 8/27(火)～9/2(月)	平成25年 9/8(日)
		平成25年 9/24(火)～10/3(木)	平成25年 10/13(日)
		平成26年 2/4(火)～2/13(木)	平成26年 2/22(土)
		平成26年 2/18(火)～2/27(木)	平成26年 3/10(月)
特別推薦選考入試(指定校) ★			
玉手山学園ファミリー特別推薦選考入試 ★		平成25年 9/24(火)～10/3(木)	平成25年 10/12(土)
課外活動特別推薦入試 ★			
推薦選考入試	一次 ★	平成25年 9/24(火)～10/3(木)	平成25年 10/13(日)
	二次	平成25年 10/29(火)～11/7(木)	平成25年 11/16(土)
	三次	平成25年 11/26(火)～12/5(木)	平成25年 12/14(土)
試験選考入試 ★		平成26年 1/6(月)～1/16(木)	平成26年 1/25(土)
センター試験利用入試 ★		平成26年 2/7(金)～2/18(火)	独自入学試験はありません。

★印の入試は、奨学金対象入試です。

## 奨学金制度

### 学校法人玉手山学園の卒業生や、卒業生の血縁者対象の奨学金

#### 玉手山学園ファミリー入学時奨学金

給付額:15万円

学校法人玉手山学園の卒業生や、卒業生の血縁者を対象にした奨学金制度です。入学時に申告することで、以下の①～③のいずれかの給付条件を満たしたすべての人に15万円を奨学金として給付します。

- ①学校法人玉手山学園が設置する学校・園の(1)卒業生(2)卒業生の親(3)卒業生の子(4)卒業生の孫(5)卒業生の姉妹が、本学へ入学した場合。
- ②学校法人玉手山学園が設置する学校・園の(1)在学生の親(2)在学生の子(3)在学生の孫(4)在学生の姉妹が、当学園の設置する本学へ入学した場合。
- ③学校法人玉手山学園が設置する学校・園に①②に該当しない姉妹が、複数同時に入学した場合。(一人を除く姉妹について給付します)

### 前学期の成績で給付が決まる奨学金

#### 関西女子短期大学特別奨学生

給付額:20万7,500円

人物優秀で前学期の学業成績が上位の学生、または課外授業において極めて優秀な成績を収めた学生に対して、20万7,500円を奨学金として給付します。

奨学金給付時期	保育科	保健科	歯科衛生学科	医療秘書学科		課外活動	合計
				医療秘書コース	介護福祉コース		
1年秋季学期	6名	3名	6名	3名	2名	1名	21名
2年春季学期	6名	3名	6名	3名	2名	1名	21名
2年秋季学期	6名	3名	6名	3名	2名	1名	21名
3年春季学期	—	—	6名	—	—	1名	7名
3年秋季学期	—	—	6名	—	—	1名	7名

# 受講中の マナー指針に ついて



現在本学では、大学生活の中で一番の核となる授業の場におけるマナーの向上に全学をあげて取り組んでおります。

本学の建学の精神は「感恩」です。他人を思いやり、豊かな心を持った専門的職業人の育成を行うにあたり、マナー教育は欠かせません。

そこで、授業の場における受講マナー指針として3つの項目を掲げています。

## ◆受講マナー

1. 授業開始時及び終了時に「挨拶」を行う。
2. 授業中の携帯電話の使用を禁止する。
3. 授業中の私語・飲食を禁止する。

これらの項目は、授業中だけに限ったことではなく、今後皆さんが社会人として生活していく上でも必要となる項目でもあります。また、やむを得ず授業を欠席しなければならない時など、事前に報告することが社会人としてのマナーです。在学中に、他人を思いやる豊かな心と基本的なマナーを身につけ、本学の卒業生として自信を持って社会に出てほしいと思います。

## 学生調査に ついて

教育開発支援センターでは、学生に対して入学時と卒業前に、いずれも記名式でアンケートを実施しています。入学時の調査は、入学以前の学習習慣や本学を志望した動機等についてで、2011年から実施しています。卒業前の調査は、大学での学習習慣や大学で身に付けたものについてで、2012年より実施しています。

(3年制の歯科衛生学科は未実施)

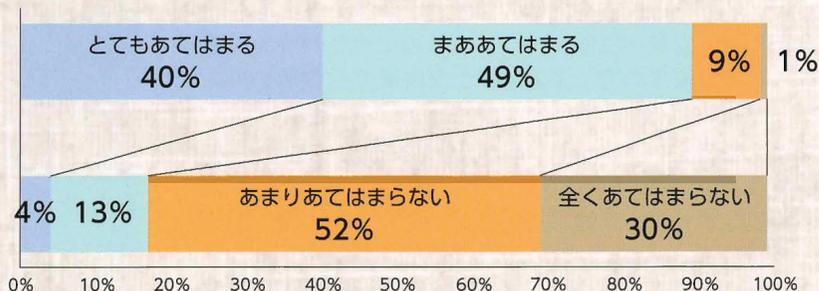
本調査の目的は入学時の回答、在学時の成績、卒業前の回答を比較することによって、学生の傾向を把握することです。現在はまだ入学時、卒業前調査それぞれを個別に分析するに留まっていますが、本学入学生の傾向としては与えられた宿題はまじめにこなしてきた半面、主体的に予習・復習をしたり学習プランを立てたりした経験が少ないこと、卒業生の傾向として多くの学生が専門的な知識や技術が身についたと感じている一方で課題解決力等を身につけたと感じている学生が少ないことなどが、判明しています。

本センターでは今後、さらに分析をすすめていくと共に、これらの結果をふまえた、今後の教育改善を提案していきたいと思っております。

### ◆【入学生の傾向】 学生調査(1年次)より

学校で出された宿題や課題をきちんとやっていた。

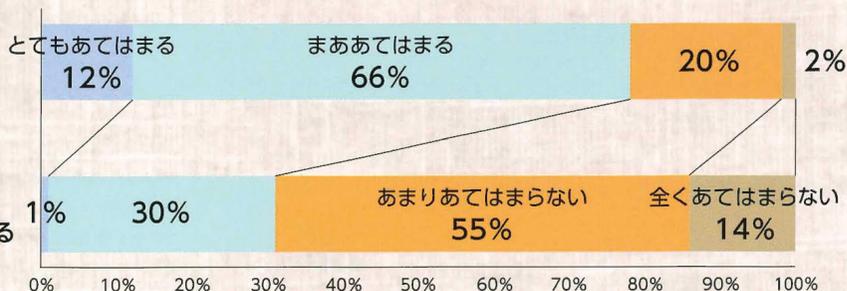
自分の意思で毎日コツコツ勉強した。



### ◆【卒業生の傾向】 学生調査(2年次)より ※歯科衛生学科は除く

専門分野の基礎的な知識・技術を身につける

仮説の検証や情報収集のために、実験や調査を適切に計画・実施する



# 玉手山学園の学生食堂



玉手山学園には、3か所の食堂があり短大生はもちろん高校生や大学生すべての学生が自由に利用できます。どこの食堂もお昼休みの時間ともなると、多くの学生で賑わい活気に満ち溢れています。食堂のカウンターには、メニューごとに食事バランスガイドが書かれてありますので、栄養バランスを考えた食事を摂ることができます。

メニューは豊富で、うどんやラーメン等の麺類、カレーや丼ぶり等のご飯物、数種類の定食、また、その日の気分に合わせてソースを選べるオムライス、季節限定の冷やし中華や坦々麺、各種お弁当等もあります。さらに、単品の唐揚げやコロック、たこやきや焼きそば等、手軽に食べられるメニューもあり、小腹が空いた時にも重宝します。

食堂で仲間とわいわいがやがや話をしながらランチタイムを楽しめる環境は、短大生活をより楽しいものにしてくれます。



## 編集後記

保護者の皆様にはお変わりございませんでしょうか。荒廃した東北地方の天津波の跡地に、土筆が顔をのぞかせ、水仙や桜が咲き、しばし人々の心を和ませてくれました。ところで、我が家でも、何度も処分しようと思っていたさつきの花が20年ぶりに満開に咲きました。今更ながら植物の生命力に驚いています。

さて、本広報誌はこれからも各学科の様子や、短大の行事等をお知らせいたします。お気づきの点やご要望がございましたらご連絡ください。今年もどうぞよろしくお願いたします。



## 本誌タイトルの由来

れぬーべるとばん  
*Les nouvelles du vins*

### フランス語で【ワインニュース】の意味

本学のある大阪府柏原市は有名な柏原ワインの産地でもあります。学園周辺にもぶどう畑がたくさんあり、秋になるとぶどうの実がたわわに実る中、学生たちは登学してきます。

本誌のタイトルは、このような地元・柏原の名産品「ワイン」にちなんで「ワインニュース」と名づけ、それをちょっと気取ってフランス語にしてみました。ワインの芳醇な香りとともにホットなニュースをお届けできたらと考えています。

